



GLOCAL(グローバル) 鳴北

時津町立鳴北中学校
令和6年度 学校だより No. 23
令和6年11月29日
文責 校長 山本将司

「あすチャレ！ジュニアアカデミー」で人権学習！

今年度、本校の人権学習の一つとして、「あすチャレ！ジュニアアカデミー」（主催：日本財団 パラスポーツサポートセンター）のプログラムを活用しました。「あすチャレ！ジュニアアカデミー」とは、公式ウェブサイトには以下のような説明があります。

- ・パラアスリートと共生社会を学ぶワークショップ型授業
- ・障がいのある人もない人も、思いやり、支え合い、違いを受け入れて、より良い社会を作るための第一歩を踏み出す授業です。

実際のところ、本校へ来ていただいて、一緒に体験することはできませんでしたが、オンラインでつながり、アスリートの方とライブで学ぶことができました。パラスポーツについては、これまで知らないことの方が多かった生徒も、アスリートの方から共生社会のことや偏見のこと、そして前向きに生きることなどたくさんを学び、そのことについては、12月5日（木）の人権集会で発表予定です。



左の写真は、1年生の講師「馬島誠」さんです。現役パラアイスホッケー、パラ・パワーリフティングの選手です。

2年生の講師は、「官野一彦」さん。元車いすラグビー日本代表で、現役パラサイクリング選手です。3年生の講師は、「渡邊剛」さん。現役のパラ卓球選手です。どの方も国内外の大会やパラリンピックで素晴らしい成績を収められた方々です。

以下に、生徒からの感想を紹介します（一部省略等があります）。

【1年2組 淵 心陽 さん】

まず最初に馬島さんを見て、この人は本当に障がいを持っているのか分からないくらい笑顔だったし、声もはきはき、普通の人を持っていないくらいの体格でとても驚きました。馬島さんは、「顔晴る」ことと「感謝」が大切と言っていましたが、それは障がいを持っている人だけではなく、全員がしないとけないことだと思いました。

【2年4組 岸本紗織 さん】

今日の官野さんの話を聞いて、障がいは社会や環境にあるとわかりました。エレベーターやスロープがあれば、上へ行ける。上へあがれないのは、足に障害があるからではなく、エレベーターやスロープがないからと学びました。また、「やれる」「やれない」じゃなくて、「どうやったらできるようになるか」という話で、「確かに！」とも思いました。

【3年2組 米原叶花 さん】

私は今日の講話を聴いて、ネガティブな考え方をしてしまう自分が少しポジティブに変わったと感じています。渡邊さんがおっしゃったように、私自身の障がい者の方へのイメージとリアルな障がい者の方の気持ちにはギャップがありました。障がい者の方自身が自分のことをかわいそうと思っていないのに、私がそう思うのは失礼だと思います。人それぞれ、生き方も輝き方も違うし、不可能だったことも可能にすることができるかと渡邊さんから勇気をもらいました。